

令和 3 年 6 月 2 9 日(火)  
見附市地域公共交通活性化協議会

# 令和 2 年度事業報告

---



# 1. コミュニティバス

## (1) 利用実績

### 利用者実績 (160,381人)



- ・ 対前年度比 **86.9%** (令和2年度目標値：195,000人以上)
- ・ 全体収支率 **16.7%**
- ・ 運行本数 **67便 (R2.4~R3.3月)** (Aルート26便、Bルート31便、B2ルート10便)

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	対前年比
全体 (人)	161,458人	182,155人	184,647人	160,381人	<b>86.9%</b>
収支 (%)	23.6	24.8	22.6	16.7	
バス台数	6.0台	6.0台	6.5台	7台	

- ・ 日中帯の高齢者利用減 (新型コロナ禍の通院控えなどの外出自粛が影響)
- ・ 朝夕の中高生の利用減 (新型コロナ禍での学校休校が影響)

	R 1 年度	R 2 年度	R 1・R 2 平均乗車数
合計	184,647	160,381	7.9人・6.7人
おはようライナー	—	702	—・1.9人
A直行便	35,157	31,609	4.1人・3.1人
B通常便	109,113	103,963	9.7人・8.7人
B 2 通常便	40,377	24,107	11.5人・9.3人

## コミュニティバス 運行ルート図 (R2)



タクシー事業者 中越交通㈱(0258)62-0022 備みつけタクシー(0258)62-1500 三越タクシー㈱(0258)35-6161

# 1. コミュニティバス

## (2-1) 利用状況 ～利用時間の傾向について～

### ①利用されている便 ※R2.10月、R3.3月の動態査結果より

車庫発便	1日平均利用	パティオ発便	1日平均利用
①9:55発 (B)	17.5人	①16:05発 (B)	15.4人
②7:35発 (B)	13.8人	②11:10発 (B)	14.7人
③7:10発 (B)	13.6人	③7:33発 (B 2)	13.9人
④11:55発 (B2)	12.8人	④10:05発 (B)	13.0人

①早朝、夕方は利用者が多く、利用停留所が見附駅に集中している。通勤通学での利用ニーズは高い

②10～11時は60歳以上の利用が高く、「新町3丁目 (原信) 」や「パティオにいがた」「ほっとぴあ」の利用が多い。

### ②利用されていない便 ※R2.10月、R3.3月の動態査結果より

車庫発便	1日平均利用	パティオ発便	1日平均利用
①20:07発 (A)	1.2人	①20:51発 (A)	1.5人
②18:55発 (A)	1.3人	②11:30発 (A)	2.3人
③21:05発 (A)	1.6人	③22:00発 (A)	2.4人
④6:00発 (お)	2.2人	④6:45発 (A)	2.4人

※全時間帯通して、緑町や市野坪、今町の住宅地を經由するB、B2ルートの方がAルートより利用者数が多い。

20時以降の利用が低調傾向

⇒新型コロナによる飲食店への外出自粛の影響が大きいと推察。

⇒令和3年度以降も動態調査により利用ニーズを調査し、必要に応じて再編の検討材料とする。

# 1. コミュニティバス

## (2-2) 利用状況 ～利用停留所・利用年代の傾向について～

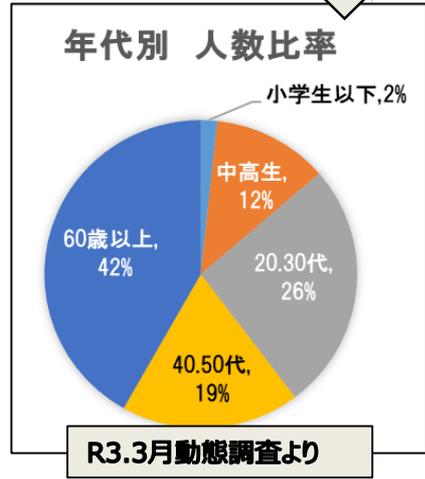
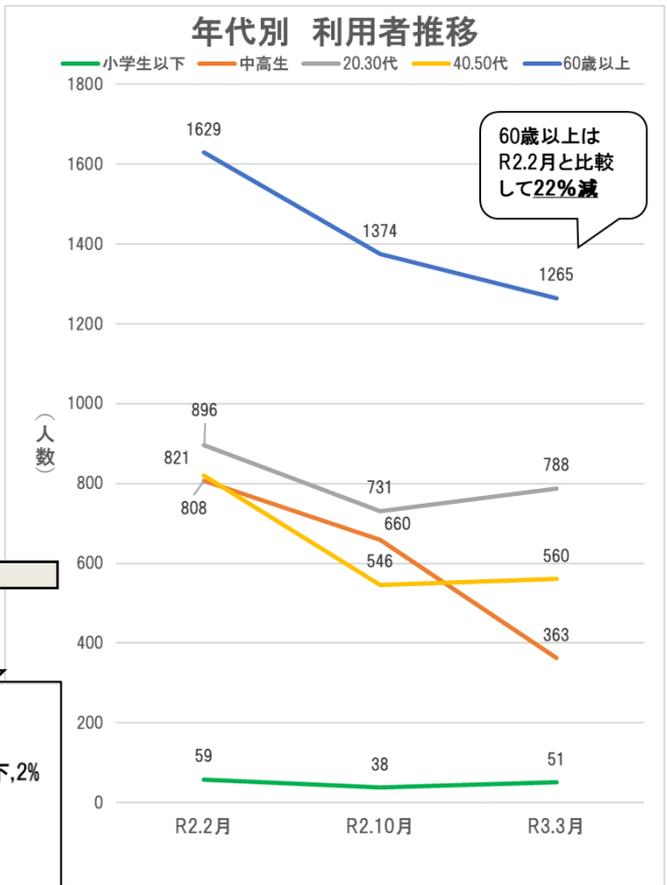
③停留所の利用状況（利用ベスト4） ※R2.10月、R3.3月の動態査結果より ④年代別の利用率 ※R2.2月、R2.10月、R3.3月の動態査結果より

車庫発 (乗車)	1日平均利用者数	車庫発 (降車)	1日平均利用者数
①見附駅	35.2人	①見附駅	48.6人
②本町十字路	28.4人	②中部産業団地	18.2人
③新町3丁目	18.5人	③パティオ	16.1人
④緑町西	12.6人	④産業団地・EG	15.4人

パティオ発 (乗車)	1日平均利用者数	パティオ発 (降車)	1日平均利用者数
①見附駅	62.4人	①新町3丁目	26.5人
②パティオ	21.6人	②見附駅	23.2人
③産業団地・EG	18.3人	③ほっとぴあ	23.1人
④新町3丁目	13.6人	④本町十字路	17.1人

・JRとの結節点である見附駅や、中部産業団地の乗降者が多い。  
(通勤通学での利用定着)

・パティオやほっとぴあでの降車数が多く、公共施設の利用時にもコミュニティバス利用が定着していると推察。



新型コロナによる外出自粛による利用者数減少も、R3.3月には20～50代は回復傾向であったが、**60代以上は減少傾向が続いている。**  
※中高生の減少は春休みのためと推察

# 1. コミュニティバス

## (3-1) 取組み内容 ～より「便利な」バスを目指して～

### ① 動態調査の結果を踏まえたダイヤ改正を実施・検討

#### (R2.4～ダイヤ改正)

##### ・おはようライナー・深夜便の運行

⇒見附駅から産業団地を経由する通勤便（車庫発始発便）

⇒21時以降発車便の増便（深夜便）

#### (R3.4～ダイヤ改正)

##### ・見附駅の発車時刻に定時制を持たせた運行ダイヤに変更

##### ・朝夕のコアタイムの運行間隔の短縮（30分⇒20分間隔）

### ② 経路検索システムへのコミュバスルート反映

⇒ ナビ検索システム（ジョルダン、googleマップ）への

コミュニティバスダイヤ反映により、

コミュバスと他の公共交通との接続時間・方法を広く周知

### ③ 各種利用割引の継続実施

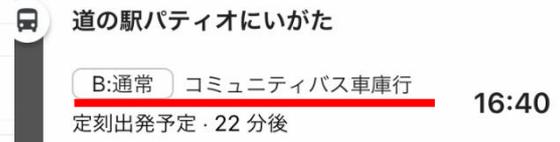
1日券の利用が低調傾向。

⇒ 1日券の利用が想定される高齢者の利用回復に向けた

取組が必要

コミュニティバス時刻表 (A2)

見附駅前着	見附駅前発
6:55	7:00
7:15	7:20
7:35	7:40
7:55	8:00
8:15	8:20
8:40	8:40
9:00	9:00



#### 割引利用者数

	R01年度	R02年度	対前年比
子育て応援カード	20,279人	20,688人	102.0%
免許返納	6,040人	5,607人	92.8%
1日券	13,276人	9,372人	70.6%
のりバス(定期券)	3,457人	3,389人	98.0%

# 1. コミュニティバス

## (3-2) 取組み内容～新型コロナウイルス対策～

### 新型コロナウイルスの影響による利用者への配慮や、市内飲食店の支援を実施

#### ① 感染予防策の徹底

⇒乗務員の毎朝検温、車内の常時換気、定期的な車内消毒を実施しました。

#### ② 乗務員へのマスク配布

⇒マスク不足が深刻化する状況で、市民・乗務員の感染防止を目的として実施

#### ③ 「のりバス」の利用期間延長（5月～7月）

⇒緊急事態宣言によるテレワークなどから、通勤通学等で利用数が減った方への支援として実施

#### ④ 公共交通共通利用券の配布（広報8月号付録）

⇒コミュニティバス、デマンド型乗合タクシー、市内を經由する路線バス、

市内に営業所があるタクシー会社のタクシーを利用する際に使える

100円券を広報付録として全世帯配布（100円券×5枚）

※市がコロナ対策補助金を利用して実施

#### ⑤ テイクアウト支援事業のPRチラシをバス車内外に掲示

⇒市内飲食店のテイクアウト利用を促進するためのPRチラシを掲示



定期的な消毒の実施

Pick UP コミュニティバスなどで使える  
**公共交通共通利用券を配布**

市内でお買い物や飲食をする際に便利なコミュニティバス・デマンド型乗合タクシーで使える利用券500円分（100円×5枚）を配布します。このページの左側のチケット部分を切り離してご利用ください。 監企画調整課内線 315

より利用しやすくなりました  
**デマンド型乗合タクシーが日曜・祝日も運行**

日曜・祝日運行の期間は、令和3年2月末まで。また、該当地区では1日6便だった便数を7便に増便します。  
※該当地区には、○月○日に新たな時刻表を全戸配布します

共通利用券の配布



テイクアウト支援ラッピング

# 1. コミュニティバス

## (3-3) 取組み内容 ～「乗ってみたい！」と思わせる仕掛けづくり～

令和元年度に引き続き、子どもたちの作品掲示を行うことで、子どもたちの「乗ってみたい！」という意欲や、「作品を見たい」という親世代の乗車意欲を促進



### ① つぐみ幼稚園とのコラボラッピング（7月）

⇒子どもたちが書いた提灯などをバス車内掲示し、新型コロナウイルスの影響で中止した見附まつりに代わるお楽しみイベントを実施



### ③ アート美術教室とのコラボ（3月）

⇒市内アート美術教室に通う子どもたちの作品を車内掲示し、「センスオブワンダー号」という名前で半月程度、運行を実施



### ② 見附天使幼稚園とのコラボ（9月）

⇒警察が実施する「ちびっこ交通安全フェア」でのパトカー、白バイ展示と合わせて、コミュニティバスの展示および写真撮影を実施

## 2. デマンド型乗合タクシー

### (1) 実績

#### 利用者実績 (過去最高 4,418人)

- ・ 対前年度比 **113.5%** (令和2年度目標値: 4,000人以上)
- ・ 全体収支率 **16.2%**
- ・ 運行本数 **12便 (各地区6往復)**



利用者数	H30年度	R01年度	R02年度	対前年比
全体	3,382	3,892	4,418	113.5%
①今町田園ルート	1,032	564	388	68.8%
②新潟地区ルート	981	1,226	1,236	100.8%
③葛巻地区ルート	334	281	197	70.1%
④元町1ルート	646	671	663	103.9%
⑤牛ヶ嶺～	389	336	173	98.8%
⑥杉澤～	-	814	1,761	216.3%
収支率 (%)	18.3	16.9	16.2	95.9%

前年度比で大きく減少している路線

前年度比で上がった路線

#### 見附市デマンド 運行区域図 (R2.4.1)



- ①今町田園地区: 下関町・三林町・田之尻町・坂井町・釈迦塚町
- ②新潟地区: 白銀町・東町・四ツ屋町・松ノ木町・西の上町町・西の下町・千刈町・指出町・小栗山町・下鳥町・片桐町・美里町・戸代新田町
- ③葛巻: 青木町・反田町・北野町・山吉町・速水町・加坪川町・漆山町
- ④元町1: 元町1・鳥切窪町・石地町・西山町・町屋町
- ⑤牛ヶ嶺: 牛ヶ嶺町・宮之原町・河野町・明晶町
- ⑥杉澤: 杉澤町・池之島町・堀溝町・【長岡市文納】

利用者数は増加しているが、収支率が微減している。

⇒乗合を増やすための工夫が必要



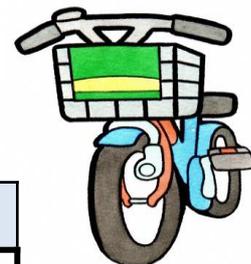
# 3. レンタサイクル

## (1) 状況と実績

### 利用者実績 (1,167人)

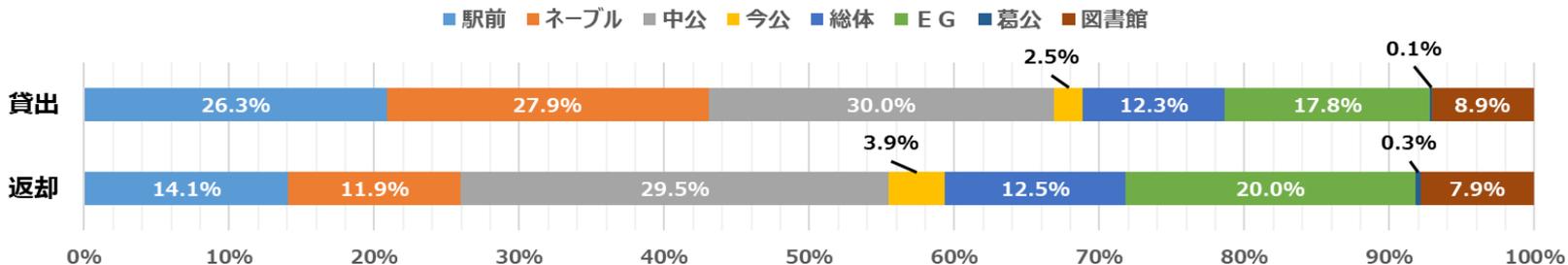
●年度別の各施設の貸出状況 (R02年度)

ステーション/ 貸出回数 (回)	H30年度	R01年度	R02年度	対前年比
全体	1,351名	1,577名	1,167名	74%
ネーブルみつけ	384	453	188	41.5%
見附駅 (角屋旅館)	205	282	177	62.8%
今町公民館	55	10	17	170%
中央公民館	316	502	202	40.2%
E G・レアント	77	63	120	190.5%
総合体育館	46	32	83	259.4%
葛巻公民館	6	15	1	6.7%
図書館	130	100	60	60%
パティオにいがた	132	120	113	94.2%
PiPPA	—	—	206	—



イングリッシュガーデン・ホテルレアント・総合体育館の利用増加 → 宿泊客・従業員の長期利用、ヘビーユーザーによる定期利用  
 ネーブル・見附駅・中央公民館の利用者減 → 新型コロナによる外出自粛の影響

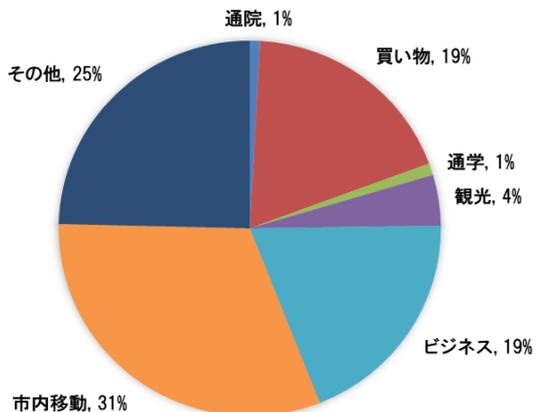
### 貸出と返却場所の比較



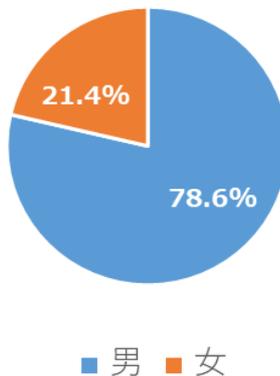
# 3. レンタサイクル

## (2) 課題 (利用者属性と傾向)

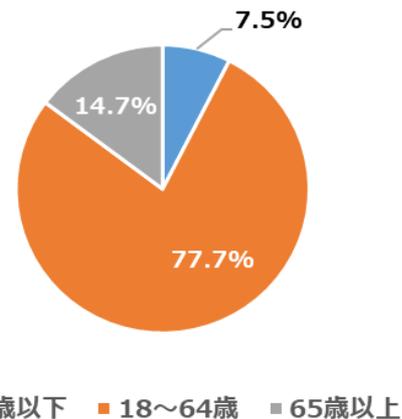
### 利用目的別の集計



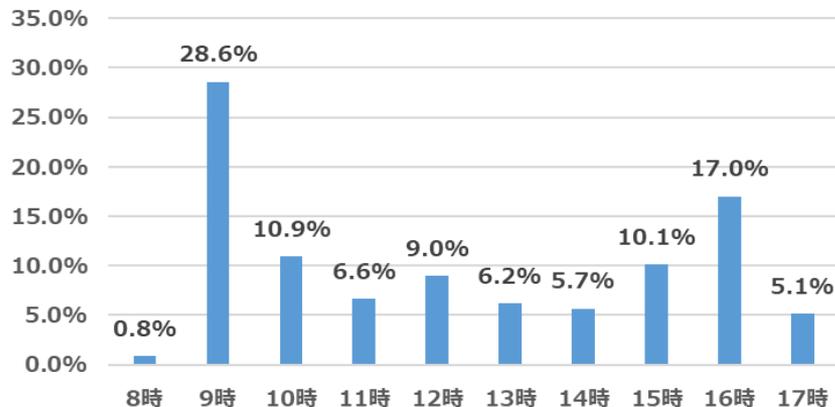
### 男女別の集計



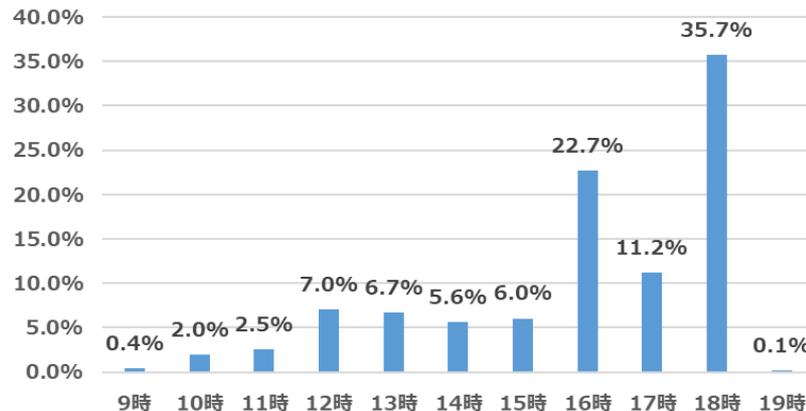
### 年代別の集計



### 貸出時間別の集計



### 返却時間別の集計



9時貸出、18時返却の割合が高いことから、1日中利用している方が多いことが推察される。  
⇒24時間利用可能な「PiPPA」への切り替えにより、18時以降の利用ニーズをカバーできる。

## 3. レンタサイクル

### (3) 「より使いやすい」を目指して ～「PiPPA (ピッパ)」の導入～

レンタサイクルの利便性向上のため、専用アプリから自転車を借りられる有料シェアサイクルサービス「PiPPA (ピッパ)」を導入



専用のスマホアプリで貸し出しから支払いまで自分一人で行えるため、**面倒な鍵の貸し借り、利用時間の制限を廃止。**（24時間利用可能）

通常30分110円でのサービス提供だが、見附市では**独自の「見附デイパス」制度を導入し、1日100円でサービスを提供し、**市民の利用促進を図っている。

市内公共施設8箇所に設置した**サイクルポート**で貸出・返却が可能。

	R3.4	R3.5
利用者数	139	127
新規登録者数	40	22

## 4. 公共交通計画の作成

### 見附市における公共交通の課題



#### ① 交通手段の連携強化、ネットワーク形成

- ⇒公共交通間の接続を意識したコミュバスダイヤの検討（R3.4～見附駅に定時制を持たせたダイヤ変更）
- ⇒目的地に合わせた最適な乗り換え情報の提供（各検索サイトへのGTFS提供による各公共交通の検索一元化）

#### ② 地域特性に合わせた効率的な公共交通

- ⇒地域の状況や市民ニーズに合わせた公共交通網の検討  
（コミュバス：B2ルートの廃止と葛巻ルートの編成　デマンドタクシー：B2廃止に伴う運行区域の再編）
- ⇒「PiPPA」の利用促進・サイクルポートの増設

#### ③ 安心・安全かつ快適な利用環境の確保

- ⇒バリアフリー化を含めた見附駅の再整備（点字ブロックの整備など）

#### ④ 地域活性化との連携

- ⇒公共交通に関するP R・モビリティマネジメントの推進（広報や市公式SNSでのPR,出前講座等の実施）
- ⇒地域事業者・イベントとの連携

#### ⑤ 持続可能な運営体制の確保

- ⇒運賃収入以外の収益確保（コミュバス車内のデジタルサイネージ設置）